

「次世代空モビリティの社会実装に向けた 実現プロジェクト」の事業紹介

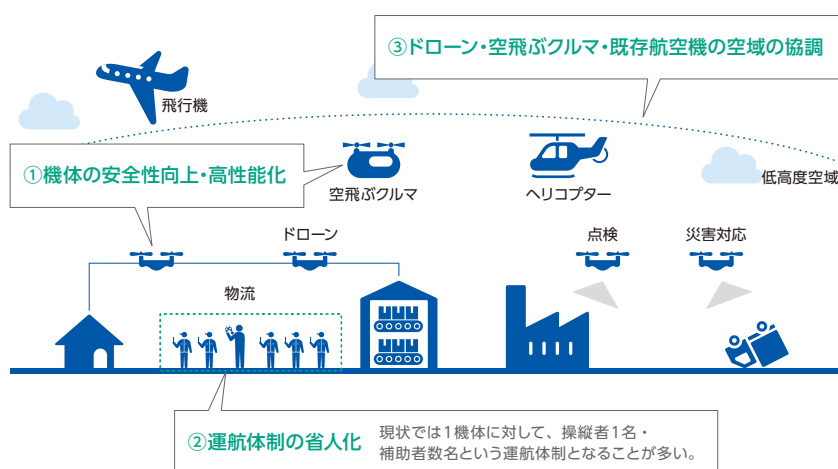
プロジェクト実施者

国立大学法人名古屋工業大学、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構、学校法人新潟工科大学、学校法人近畿大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国立大学法人千葉大学、国立大学法人東京大学、国立大学法人長岡技術科学大学、国立大学法人筑波大学、Intent Exchange株式会社、国立大学法人信州大学、株式会社デンソー、多摩川精機株式会社、PwCコンサルティング合同会社、KDDI株式会社、日本航空株式会社、楽天グループ株式会社、イームズロボティクス株式会社、一般財団法人先端ロボティクス財団、日本電気株式会社、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、株式会社NTTデータ、オリックス株式会社、株式会社三菱総合研究所

プロジェクト概要

労働力不足や物流量の増加に伴う業務効率化に加え、コロナ渦での非接触化が求められる中で、次世代空モビリティ（ドローン・空飛ぶクルマ）による省エネルギー化や人手を介さないヒト・モノの自由な移動が期待されています。その実現には次世代空モビリティの安全性確保を前提として、運航の自動・自律化による効率的な運航の両立が求められています。

「次世代空モビリティの社会実装に向けた実現プロジェクト(Realization of Advanced Air Mobility Project:ReAMo(リアモ)プロジェクト)」では、ドローン・空飛ぶクルマの性能評価手法の開発及びドローン・空飛ぶクルマ・既存航空機がより安全で効率的な飛行を実現できる統合的な運航管理技術の開発など、次世代空モビリティの実現に必要な技術開発を行うことで省エネルギー化と安全で効率的な空の移動を実現します。



ReAMoプロジェクトシンボルマーク

出典：第17回小型無人機に係る環境整備に向けた官民協議会



国立研究開発法人
新エネルギー・産業技術総合開発機構

展示物紹介

本事業では、【1】次世代空モビリティの安全性向上・高性能化のための、機体性能を適切に評価する性能評価手法の開発、【2】操縦者が1人で複数のドローンを安全に運航する「1対多運航」を実現するための要素技術と当該技術に対する適合性証明手法の開発、【3】低高度空域を飛行するドローンや空飛ぶクルマと航空機がより安全で効率的な航行を行うために必要となる運航管理技術の開発など、次世代空モビリティの実現に必要な技術開発を実施します。

本事業で得られた調査・研究・実証成果等について、国内外の関係者と共有し、議論を進め、ドローン・空飛ぶクルマに代表される次世代空モビリティ市場の発展に貢献をしていきます。

また、ReAMo プロジェクトのWebサイトで、定期的にプロジェクト成果等の情報を発信する予定です。

各研究開発項目の概要

プロジェクトの研究開発概要		
【研究開発項目①】 性能評価手法の開発	(1) ドローンの性能評価手法の開発	制約環境下におけるドローンの性能評価法の研究開発 次世代空モビリティの安全認証および社会実装に求められる性能評価手法に関する研究開発
	(2) 空飛ぶクルマの性能評価手法の開発	次世代空モビリティの電動推進システムの設計・製造承認に向けた環境試験技術の研究開発
	(3) ドローンの1対多運航を実現する適合性証明手法の開発	<ul style="list-style-type: none"> ●ドローンの1対多運航を実現する適合性証明手法の開発 ●複数ドローンの同時運航実現に向けた運用要件の策定および運航管理システムの開発 ●ドローン物流における1対多運航を安全に実現するための遠隔監視システム等の研究開発 ●リモートIDを利用したドローンの1対多運航制御システム及び要素技術開発
	(4) ドローンの1対多運航を実現する機体・システムの要素技術開発	
【研究開発項目②】 運航管理技術の開発	ドローン・空飛ぶクルマ・既存航空機がより安全で効率的な飛行を実現できる統合的な運航管理技術の開発	高密度飛行を目指したエッジとクラウドのAI・最適化による衝突回避と運航管理の研究
		低高度空域共有に向けた運航管理技術の研究開発

ReAMo

次世代空モビリティの社会実装に向けた実現プロジェクト



次世代空モビリティの社会実装に向けた実現プロジェクト／事業概要紹介



プロジェクト実施期間	2022年度～2026年度
NEDOプロジェクト名	次世代空モビリティの社会実装に向けた実現プロジェクト／ Realization of Advanced Air Mobility Project:ReAMo(リアモ)プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ■研究開発項目(1)「性能評価手法の開発」 (1) ドローンの性能評価手法の開発 (3) ドローンの1対多運航を実現する適合性証明手法の開発 (2) 空飛ぶクルマの性能評価手法の開発 (4) ドローンの1対多運航を実現する機体・システムの要素技術開発 ■研究開発項目(2)「運航管理技術の開発」
お問い合わせ先	☒ nedo_aam@ml.nedo.go.jp 🌐 https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2_100181.html

